

さわやか

生徒指導部だより

令和5年度 第4号

3月22日発行

札幌南陵高等学校生徒指導部

(文責 田村春二)

明日から春休み

「人のふり見て我がふり直せ」ということわざがあります。一般的な意味は「人のふりを見て」つまり他人の性格や行動をみて、「我がふり直せ」すなわち自分を反省し欠点を改めなさいということです。ここでは少し拡大解釈をして話をしたいと思います。

私もそうですが、自分の欠点は、なかなか自分では気づくことができません。それはその人にとって、すでに欠点があっても当たり前の価値観になっているからではないでしょうか。そして、なぜか人の欠点や嫌なところは目についてしまいがちです。たとえ同じことを自分がしたとしても、自分はそんなことはしていないと思ってしまうのです。そう考えると、人（自分）はまこと勝手な生き物に思えてしまいます。だからこそ、謙虚な気持ちで毎日の生活を過ごすことが大切で、素直に、また客観的に物事を見て判断できる「目」を持つことが必要となります。そしてそれは、独りよがりにならず、きちんと周囲と協調し、過去のことについて分析や整理をし、自分と向き合うことで、これからどうしていかなければならないかを考えることに繋がっていきます。このことはみなさんの学校生活の中での学習、部活動、人間関係等すべてのことに通じ、人から学び、過去から学ぶことで自分にとって正しい選択をする力が身につく、自ずと自分の将来が見えてくると思います。

昨年の4月からの自分を振り返ってみてください。来月からは学年が一つずつ上がり、新2年生、3年生となり、いっそう自分の目標を具体化して学校生活を送るべきでしょう。2年生なら「部活を頑張る」「〇〇の資格を取得する」3年生なら「〇〇大学に進学する」「〇〇会社に就職する」など、早くから目的に向かって励むことが大切です。今をただ惰性で学校生活を送っている君、目標が決められないあなた、それどころか、毎日の学校生活の中で、遅刻欠席が多くなり、自分の欠席時数を指折り数えている生徒は自分自身の成長を放棄していると言わざるをえません。明日からの春休みは自分を振り返る良い時間にして欲しいものです。

不安や悩みを話してみよう

学生・高校生のみなさんへ

もうすぐ新年度を迎えますが、みなさんはどんな気持ちでしょうか。進路の問題で悩んだり、親子関係などの家庭内の問題、あるいは友人関係などで、不安や悩みを抱えている人はいませんか。みなさんだけでなく、誰にでも悩みや不安はあります。悩みや不安を一人で抱え込まず、家族や先生、スクールカウンセラー、周りの友達、誰でもよいのであなたの悩みを話してみませんか。話を聞いてもらうだけでも、心がずっと軽くなることもあります。周りの人に相談しづらいときは、電話やメール、ネットで相談できる窓口があります。人に相談することは決して恥ずかしいことではなく、生きていく上でとても大切なことです。以下で紹介している相談窓口では、いつでもあなたの悩みを聞いてくれる人がいます。もし、あなたの周りに元気がない友達がいたら、積極的に声をかけて、信頼できる大人につないでください。また、自分や友人が悩みや不安を抱えた時に相談できる機関として身近なところにどのようなところがあるのか調べてみましょう。

<https://youtu.be/CiZTk8vB26I>

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

令和6年2月 文部科学大臣 盛山 正仁